

レアメタル資源再生技術研究会 「サーキュラーエコノミー」 テーマにWEB講演会

レアメタルのリサイクルなどに関する最新技術や情報などを提供するレアメタル資源再生技術研究会（会長・藤田豊久東京大学名誉教授）は18日、「ポストコロナの産業活性化に向けた循環経済ビジョンと資源リサイクルの展望」日本型循環経済とEUのサーキュラーエコノミー」をテーマにWEB講演会を開催。当日は資源再生関連の研究者や、企業の担当者らが参加した。

講演会では「サーキュラーエコノミーとは何か？」日本静脈産業の役割」（原田幸明物質・材料研究機構名誉研究員）や「サーキュラーエコノミーの課題と今後の方向性」（中村崇東北大学名誉教授）、「EUの循環経済」（Arnold Tuckerオランダ・ライデン大学教授）の3講演が行われた。

このうち原田氏は、以前であればリサイクルは製品の成分のみを抽出する原料リサイクルが多かったが、SDGsへの関心の高まりを背景に、リサイクルの仕組みそのものが大きく変化している。製品を再構築する「リマニファクチュアリング」、劣化部品を交換し、再組立てする「リビルド」など、製品や部材を再利用する動きが加速しており、リサイクル業は資源回収から、残存価値の還元と再提供に移行するのでは、と述べた。

